

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	日頃のウォーキング・買い物、また、施設全体の行事のみの交流となっており、気軽に地域に出て行く。また、地域の方が気軽に施設に来るといった関係が出来ていない。	地域に出て行く交流は行えているため、施設に来ていただく回数を増やす。6回を目標とする。	今も行っているが、まずは施設行事に来て頂く事を初めとし、回覧板にて広報する。また、施設の防災訓練に参加を呼びかけ交流を図っていく。毎月定期的に入ってくださっているボランティアさんもいるが、さらに増やしていく。	12ヶ月
2	18	全く出来ていないわけではないが、洗濯・調理・掃除等、施設職員が業務として主体で行うのではなく、ケアとして利用者様に行っていただく。出来る事・出来ない事の見極めを行い、出来ない事でも環境を整える事での出来る可能性を探っていきたい。	洗濯・調理・掃除、1つ1つに全利用者様が何らかの形で参加をする。	各作業において、行う事を細かく洗い出す。(調理例:皮をピーラーで剥く、包丁を使う(柔らかいもの)、包丁を使う(硬いものも可)等)。それぞれにおいて、誰が行えるかまとめる。また、出来ない事でも環境を整えサポートすることで出来る事に変えることができないか、検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。